

研究に関するお知らせ
(研究課題名:脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る
実態把握及び有効性等の検証のための研究)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 脳神経外科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんので、ご安心ください。研究の対象となる方が未成年の場合やご病気等によりご自身で申し出られることが困難な場合は、保護者やご親族等の代諾者からのお問い合わせやお申し出にも対応させていただきます。

■研究目的・方法

脳卒中の患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析することにより脳卒中センター認定および環境の変革に伴う診療体制および施設間連携体制を評価し、より良い治療法を確立することを目的としています。

■研究期間

当院の研究倫理審査委員会承認日から2024年3月31日

■研究の対象となる方

2019年1月1日から2021年12月31日までの間、当院を受診され、脳卒中急性期の治療を受けられた患者さん。

■ご協力頂く内容

●使用させていただく診療データ

- ・年齢、性別
- ・病名、重症度
- ・治療(薬物、手術など)の内容
- ・臨床検査値、CT等の画像所見
- ・治療経過、など

■外部への試料・情報の提供

ご使用させていただく診療情報は本研究の主施設である神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科に提供いたします。脳卒中の患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析することにより脳卒中センター認定および環境の変革に伴う診療体制および施設間連携体制を評価し、より良い治療法を確立することが目的となります。神戸市立医療センター中央市民病院の倫理委員会および当院の倫理審査委員会の

承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

■研究組織

●主な共同研究機関及び研究責任者

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科 坂井 信幸 ほか

この研究は、急性脳卒中治療を行っている全国の主要病院(約 900 施設)が協力して実施する研究です。

■利益相反について

本研究は、厚生労働科学研究費を利用して実施します。本研究に関する企業との利益相反はなく、企業は研究の計画、解析に関与しません。利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。研究に関わる者の利益相反関係については、本研究のホームページおよび研究結果の公表時に明記します。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■当院の研究責任者：

国立国際医療研究センター病院 脳神経外科診療科長 井上 雅人

■本研究全体の研究代表者：

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科 坂井 信幸

■お問い合わせ先

問い合わせ窓口：脳神経外科外来(担当者 玉井雄大)

電話：03-3202-7181(代表)(応対可能時間：平日9時～16時)

■掲示場所・交付場所

・脳神経外科HP